**１.神経症候の評価**

**◎意識障害の評価　Japan Coma Scale（JCS)**

　脳疾患における意識障害を評価するため我が国で作られた評価法

　　Ⅰ桁は覚醒 (開眼で見ることが多い) しているが清明ではない、Ⅱ桁は刺激で覚

　　醒する状態、Ⅲ桁は昏睡状態であり、ランクが上がるごとに意識障害は強いと評

価する。

|  |  |
| --- | --- |
| ０ | 清明 |
| Ⅰ覚醒あり  １  ２  ３ | 何となくはっきりしない  時、人、場所が言えない  名前、生年月日が言えない |
| Ⅱ刺激で覚醒  １０  ２０  ３０ | 呼びかけで開眼  大きな声や揺さぶりで開眼  痛み刺激で開眼 |
| Ⅲ覚醒せず  １００  ２００  ３００ | 痛み刺激を払いのける  痛み刺激で少し動きがある  痛み刺激に対して動きなし |

状態に応じて文字を追加する（例：１０‐R、１００‐Iなど）

Ｒ： ｒｅｓｔｌｅｓｓｎｅｓｓ（不穏状態）

I ： ｉｎｃｏｎｔｉｎｅｎｃｅ（失禁）

Ａ： ａｋｉｎｅｔｉｃ　ｍｕｔｉｓｍ（無動性無言）

aｐａｌｌｉｃ　ｓｔａｔｅ（失外套症候群）

**◎徒手筋力テスト（manual muscle testing: ＭＭＴ）**

正常を5点 、筋収縮なしを0点 、重力のみに抗して動かせれば3点といったごく簡単な筋力評価法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ５ | Normal | 最大抵抗を与えてもなお、それおよび重力に抗して完全に運動できる |
| ４ | Good | 若干の抵抗を与えてもなお、それおよび重力に抗して完全に運動できる |
| ３ | Fair | 重力に抗して完全に運動できる |
| ２ | Poor | 重力を除外すれば完全に運動できる |
| １ | Trace | 筋の収縮は明らかに見られるが関節は動かない |
| ０ | Zero | 筋の収縮も見られない |



２３